

総会特別企画

シンポジウム：建築物への木材利用のインパクト評価

中大規模木造建築の普及には、サステナブルファイナンスの導入が必須です。金融機関が中大規模木造建築に対してサステナブルファイナンスを実行するためには、事業性の評価とサステナビリティに関連する環境/経済影響の評価が必要になります。

このような建築物に対する木材利用のインパクト評価は、通常の中大規模建築における対応とは異なるノウハウが必要です。そのため、林野庁は、「建築物への木材利用に係る評価ガイダンス」を 2024 年 3 月に公開しました。

本ガイダンスは、2021 年度から 3 年間、不動産、建築、木材産業分野の有識者による検討を経て策定されており、中大規模建築を木造で建設することを検討している施主、建設事業者、不動産開発業者、REIT（不動産投資信託）等の関係者から注目を集めています。

そこで今回は総会記念シンポジウムとして、本ガイダンスに基づくシンポジウムを企画いたしました。当日は、本ガイダンスのポイントである「カーボンニュートラルへの貢献」、「持続可能な資源の利用」、「快適空間の実現」の各評価分野について、各分野の第一線で活躍する講師にご登壇頂きます。

多くの皆さまの参加をお待ちしております。

.....

□開催日時： 2024 年 9 月 12 日（木）15 時 10 分～17 時 10 分

□主催： 木材利用システム研究会

□会場： 弥生講堂一条ホール（東京大学農学部キャンパス）

□参加費： 本会会員および共催団体会員は無料、非会員は 5,000 円
情報交換会 5,000 円

※シンポジウム終了後、セイホクギャラリーにて開催。
講師の皆様にも参加頂く予定です。

□概要：

- 建築物への木材利用のインパクト評価
井上雅文氏（研究会会長、東京大学教授）
- 建築物への木材利用に係る評価ガイダンスの概要
松田 涼氏（林野庁木材産業課木材製品技術室住宅資材技術係長）
- 評価分野 1：カーボンニュートラルへの貢献
伊藤聖子氏（サステナブル経営推進機構 EPD 事業部部長）
- 評価分野 2：持続可能な資源の利用
長坂健司氏（研究会常任理事、東京大学特任講師）
- 評価分野 3：快適空間の実現
杉山真樹氏（研究会常任理事、森林総合研究所木材研究部門
木材加工・特性研究領域チーム長（特性評価担当））
- パネルディスカッション

□申込期限： 2024 年 9 月 9 日（月）

□申込方法： 研究会 Web サイトからお申込みください。



研究会 Web サイト

講師/パネラー



井上雅文氏
(東京大学)



松田涼氏
(林野庁)



伊藤聖子氏
(サステナブル経営
推進機構)



長坂健司氏
(東京大学)



杉山真樹氏
(森林総合研究所)

木材利用システム研究会事務局（長坂、知念）
113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7 号館 B 棟 438 室
東京大学木材利用システム学研究室内
電話：03-5841-7506 メール：info@woodforum.jp